

竹下登の霊言 (2015年11月19日霊示)

担当:石田昭 2015年12月12日

- 1 消費税を導入した当時、財政赤字は100兆円だった。財政赤字を無くすための消費税導入だったのに、今は1000兆円に増えているのはおかしい。国民は騙されている。
- 2 マスコミは国民の側に立っていない。下っ端記者は別だが、重役以上は政府の一部になって、事実上はマスコミ省。参院、衆院、とは別にマスコミの元老が枢密院を構成してる。
- 3 マイナンバー制度は「ナチズムの本質そのもの」、「財産権の自由」をユダヤ人から奪ったのと同じ。「死亡消費税」まで考えている。財産を奪った後でガス室に追い込むやり方だ。
- 4 年金も同じで、「積立金」と説明していたのに、「簡保の宿」「天下り先」作りなどに無駄遣いし、「賦課方式」という税金に切り替えて、国民を騙した。2009年の衆院選挙で力説
- 5 マスコミは「国家の騙し」を報道すべきなのに、軽減税率を受けている。「国家権力の一部」と考えた方がいい。政府と裏取引して、軽減税率を受ける約束があることを選挙戦で街宣した。
- 6 大学の不認可については、「教授陣に減税論者がいるからダメだ」という意見があることを霊界で調べた。すでに“ナチズム”が文科省に入っている。「学問の自由」は存在しない。
- 7 日本には民主主義が根付かなかった、死んでいる。「お上」の言うことを妄信して、自分で判断できない。代々のお殿様、に仕える気風がある。科学者も同じで、権威者に従っている。
- 8 政府とマスコミはマルキシズムの全体主義思想で動いている。予算権限の面でも「内閣府」を設けて、全権限を内閣の方に集め、国家総動員型に近づいている。危険である。
- 9 賢人はバカバカしくて立候補しない。政府は一回潰れたほうがいい。あと5年続いたら、政府は財政赤字で潰れる。そのときは、文科省、厚労省、経済産業省、内閣府など不要。
- 10 安倍さんは「戦争が好き」のようだ。「国防を強化して強大国家」を目指していて、危険である。国民に「防人意識」を醸成することの方が大切に思える。石田案「防人国債」の発行。
- 11 「戦前にも神の意思は働いていた」と言うが、実際に人権は抑圧されていた。この部分は反省が必要である。主の言葉：廃仏毀釈という非寛容な姿勢の“崇り”が敗戦の原因(救世の法)
- 12 安倍氏は勉強が足りてない。アベノミクスといっても、自分が作ったものではなく、大川案を借りただけ。見通してないものがある。大川案は減税して景気回復をせよと言っている。
- 13 アベノミクスが失敗すると、生贄を欲するようになるから、気をつけたほうがいい。負け続ける事によって、今迫害を止めている。 「待つ」しか勝つ道はない。活動を続けて待てば、権力の崩壊は必ず来る。それまで、あんまり突発した行動を取りすぎないことが大事。モデレート(適度)にやりながら待つこと。智慧を出さなくてもいいように聞こえ、疑問。
- 14 「神様のお心を体した政治」というのが二千年くらい連綿と続いた日本の歴史である。明治維新、もっと昔の日本に戻るのも良い。「偉い人の血筋を引く者に治めて欲しい」と願うのは「神聖政治への憧れ」という気持ちのすり替えに過ぎない。日本に民主主義は合わない。
- 15 今災害が多いということについて反省が必要である。国政を預かるもの、天皇陛下、宮中職員、省庁関係者に神仏の心に反したものがあると思う。日本神道出雲系の親分格の見方。
- 16 今のマスコミの状態から見て、幸福実現党が大勝することはかなり難しい、公党にしないように懸命の“ブロック”が何重にも張られている。大学の不認可も「政党への弾圧」「大学が不認可になるくらいのおかしな宗教、そこが作った政党」という論理。安倍政治をマスコミは黙認。マスコミの使命を完全に放棄している。政治は汚い「かまぼこ工場」
- 17 政治で勝てない根本原因は根深い。「唯物論との戦い」という「世界改革」にまでつながっている。教団が大きくなることが前提条件。下生予定の弥勒(月読命)の仕事かも。